

## 着任のご挨拶

シンガポール日本商工会議所 理事  
MITSUI & CO. (ASIA PACIFIC) PTE LTD  
Director  
村山 貴宣



シンガポール日本商工会議所のみなさま、本年4月1日に在シンガポール三井物産株式会社 アジア・大洋州本部に着任いたしました。いまだ、ご挨拶申し上げていない会員のみなさまも多くおられ、大変恐縮しております。まずは、本紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

わたくしごとながら、当方の略歴を申し上げますと、三井物産へ入社以来、社内出向でコーポレート部門に所属した以外は、ほぼモビリティ事業本部に所属、フリートマネジメント事業や、電気自動車や燃料電池車をはじめ、主に自動車産業に携わる新規関連の取り組みのほか、モビリティ領域における企画業務などを中心に従事してまいりました。その間に内外の関係会社5社に出向、海外駐在は、以前ドイツに2度ほど居りまして、今回が3度目となります。最初のドイツ駐在は、共通通貨Euroの導入（当時はまだ仮通貨として仮想通貨でした）やそれに伴い各国政府が政策の協調をまさに始める直前・直下で、EUという国家を超えた壮大な取り組みと、それに伴う変化に興奮したことを今でも覚えております。

翻って、趣味は食べ歩きです。海外にいくと、郷に入ったら郷に従えではありませんが、その土地の食べ物が気候・風土的にも一番おいしいはずと信じ、食いしん坊根性丸出しで、地元料理に明け暮れることが、昔からなによりも楽しみです。ここシンガポールは民族の多様性もあり、非常にVarietyに溢れる多国籍で魅力的な食事がならび、Hawkerからレストランまでカジュアルなものも含め多種多様な料理に舌鼓を打ちつつ、今後もどのような食事に出会えるか非常に楽しみにしているところです。ちなみに、いまのところのお気に入りには、 Teppan ではありませんがHawkerのBak Kut The（バクテー）とWanton Mee（ワントンヌードル）です。お値打

ちなのはもちろんのこと、素朴に見えるにも関わらず、味わいは豊かで何度食べても飽きません。

入社後、所属した最初の部署がアジア地域担当だったこともあり、その後もアジア出張の機会には恵まれてまいりましたが、シンガポールに住むことは初めてとなります。着任し、さまざまな情報に触れて感じ始めているのは、いまさらながらではありますが、先日のシャングリラダイアログの開催地であったことなどをはじめとして、シンガポールが、この伸び行くアジアにおいて、中心のひとつとして重要な位置づけにあるということです。社会風潮の変化や、地政学的な課題、ESGへの取り組みなど、事業を取り巻く環境が大きく変わりゆく中、ASEANの重要な国の一つとしてその存在と進む方向性は注目すべきところが多くあると感じます。

また住民のひとりとして、GDP per capitaでも日本を上回る国づくりをしてきたシンガポールには学ぶべきところが多いのではないかと感じる場面がしばしばあります。産業政策はもちろんのこと、外交、ひいては日々の生活に関わる都市交通政策にいたるまで緻密にしっかりと国づくりをし、今後もそれを継続していくものと思います。

このような変化と学びの大きな場所に身を置くことのありがたさを感じながら、すこしでもアジアの成長に貢献をしつつ、ひいては日本の発展にも寄与できたらよいと考えております。まだまだ至らぬことが多く大変恐縮ではございますが、ぜひご指導・ご鞭撻を頂ければと存じます。

JCCIでは、貿易・運輸部会に所属いたします。本活動を通じて、微力ながら少しでも日系企業・日本人社会のお役に立てるよう、努めて参る所存です。末筆ながら、会員企業の皆さま、事務局の皆さま、ならびにご家族の皆さまの益々のご健勝・ご発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。